

大阪らしさを生かした観光振興の取組みについて（フリーディスカッション）

大阪らしいといえば

- 世話好きな人が多い
 - 食べ物安くて美味しい
 - 交通の便がいい
 - 派手好き
 - 買い物ができる施設が多い
 - 大学が多く、留学生が多い
- など

他の自治体等の先進事例の紹介

（京都府） 時事通信 10月2日（金）官庁速報

○ 海外居住者がイチ押し観光情報発信

京都府は、府にゆかりのある海外居住者らが京都のイチ押し観光情報などを紹介するウェブサイトを作成した。世界の主要都市で設立された県人会「京都倶楽部」のネットワークを活用。インバウンドの促進や府内企業の海外での販路開拓を目指す。

（静岡県） 時事通信 10月7日（水）官庁速報

○ 空港待ち時間を活用した外国人向けツアー

静岡県は、12月を目途に、静岡空港を利用する外国人の団体観光客を対象にして、搭乗時間の待ち時間を活用した短時間ツアーの支援を始める。個人向けにもオプションツアーを施行する。空港利用者が国際線を中心に伸びており、一層の観光客誘致につなげる。

（沖縄コンベンションビューロー） 時事通信 9月29日（火）

- 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）は29日までに、県内主要ホテルの予約状況を基に、観光客の来県見通しを天気予報形式で表した「おきなわ観光天気予報」を開始した。毎月2回、1日と15日付けで、3ヶ月先までの見通しを公表する。観光事業者の事業計画策定などに役立つのが狙い。

○ 「観光案内 1秒で25ヶ国語」 9月16日（水）日経（朝刊）

パナソニックはスマートフォンで看板などの情報を、最大25ヶ国語に翻訳して観光情報などを提供するシステムを開発した。翻訳時間も1秒程度と短いのが特徴。まず、JR西日本グループと組み、京都駅ビルなどで中国語など5ヶ国語に対応したサービスを近く始める。

○ 「大阪手ぶら観光のススメ」 9月1日（火）産経（朝刊）

JR西日本は31日、大阪駅の駅ビルに外国人観光客向けの「ツーリストサービスセンター」を設置すると発表した。荷物を大阪市内のホテルに当日配送するサービスなどを行い、観光の利便性を高める。10月1日から営業を始める。午前11時までに荷物を預ければ、その日のうちに宿泊先のホテルなどに有料で配送する。